

# ⑥虎ノ門駅

駅まち再構築のポイント



## ● 駅まち再構築のポイント

**課題** ホームやコンコースが混雑  
道路下にある、空間の拡張が難しい

- 乗降客数の増加により駅構内が混雑していたが、道路下では拡張が困難

**課題** 駅前広場がなく、滞留空間が不足  
地上と地下のつながりが課題

- 地下鉄駅であるため駅前広場がなく、滞留や災害時に対応した空間が不足

**解決策** 【A】 駅施設をまちに拡張

- 乗換動線を担う改札外コンコースを駅隣接地区の敷地内に拡張し整備

**解決策** 【C】 地下駅の駅前広場機能を  
駅空間・駅広隣接地区に拡張

- 地上へ接続する地下歩行者広場を駅隣接地区の敷地内に拡張し整備



一部民地内に拡張されたホーム・改札  
出典：都市再生特別地区（虎ノ門一丁目3・17地区）都市計画（素案）の概要

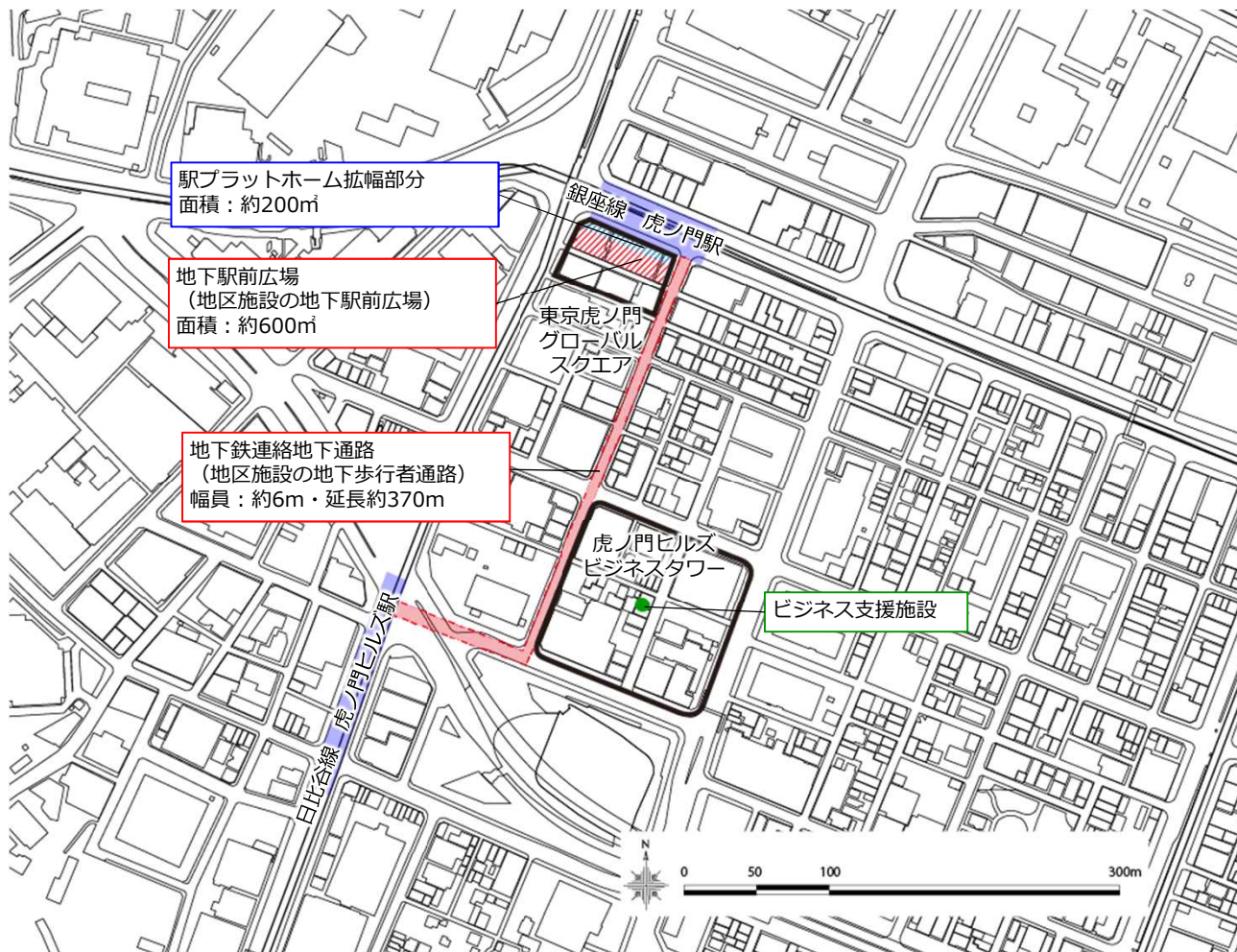


地上広場と連続した空間となっている地下駅前広場  
出典：都市再生特別地区（虎ノ門一丁目3・17地区）都市計画（素案）の概要

## ● 「空間の共有」と「機能の連携イメージ」

機能	空間	駅まち空間				周辺市街地
		駅空間		駅前空間		
		改札内	改札外	駅前広場	駅広隣接地区	
交通空間	乗降機能 交通結節機能				ホーム 改札口	
環境空間	交流機能 防災機能				地下駅前広場	
	都市環境 形成機能			駅前広場などの交通 機能（歩行者広場） を駅隣接地区に拡張		
	サービス機能				ビジネス支援 施設	

● 駅周辺地図



出典：国土地理院 基盤地図情報

凡例 (✓がついているものが該当)

<b>駅前空間</b>		<b>駅空間</b>	
✓駅前広場等 (都市計画決定区域)		駅施設 (駅ビル含む)	
駅前広場等 (都市計画決定なし)		✓改札内空間	
歩行者デッキ		✓駅前広場・駅広隣接地区へ拡張した範囲	
✓駅広隣接地区・駅空間へ拡張した範囲		<b>周辺市街地</b>	
✓駅広隣接地区 (連携し整備した地区)		サービス機能・シンボルロード等	
		✓建物内に設置されたサービス機能	

● 基礎情報

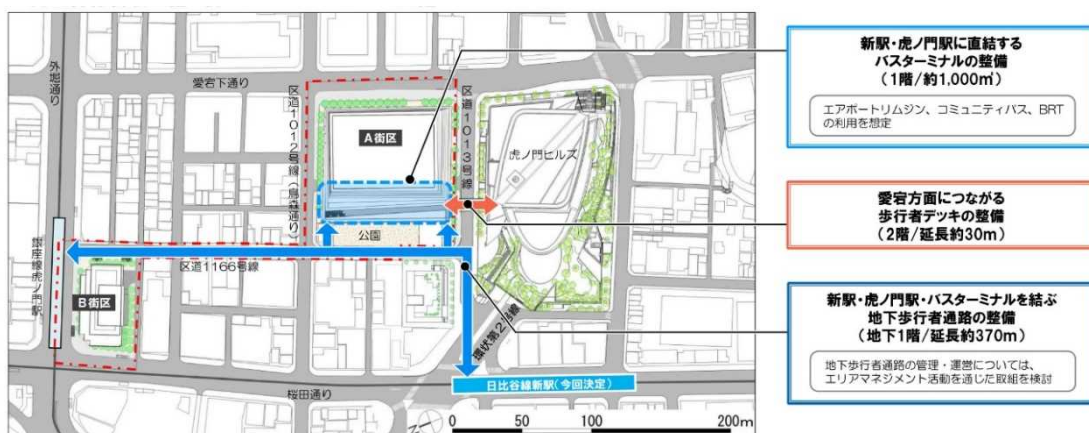
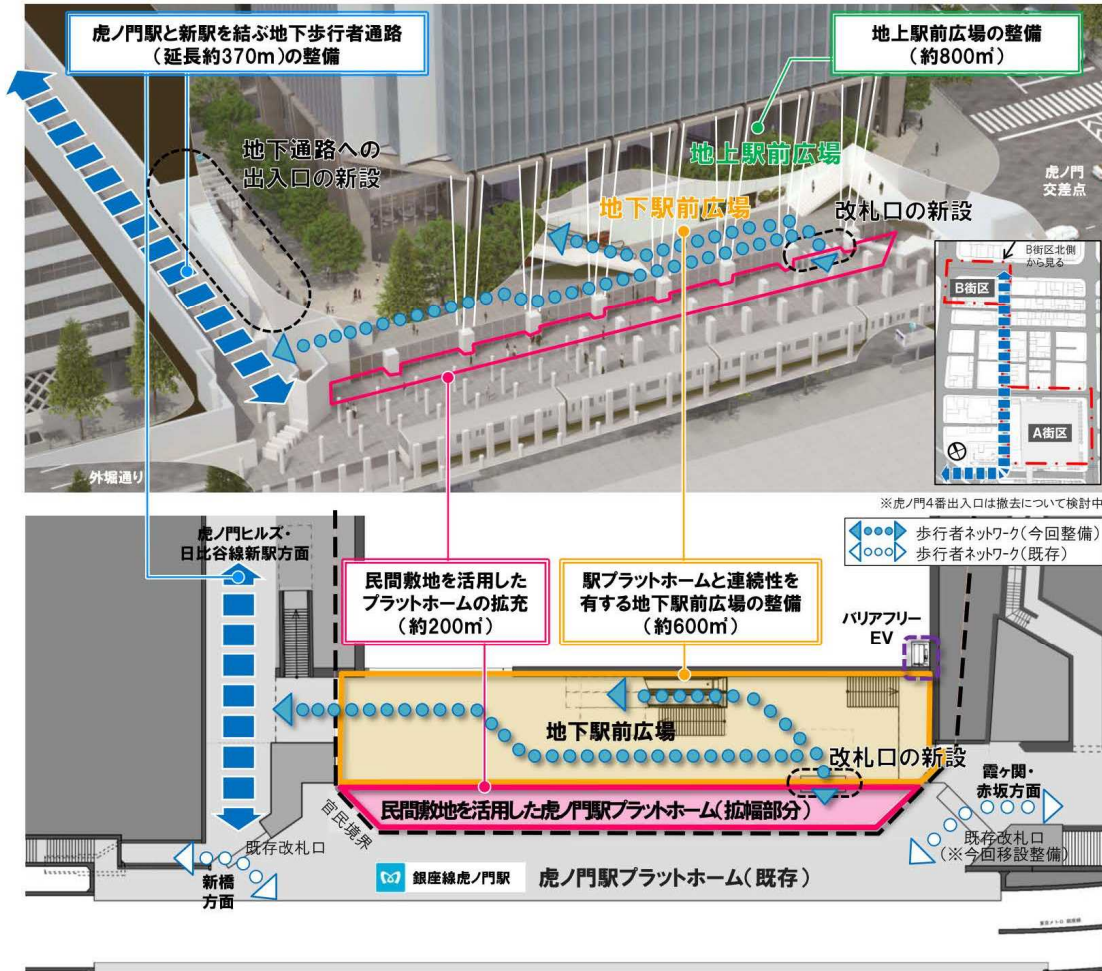
所在地	東京都港区	自治体人口	26.0万人 (2020年1月) 東京23区は939万人 (2018年1月)
乗り入れ路線	2線 ・東京メトロ銀座線、日比谷線 (虎ノ門ヒルズ駅)	乗降客数	11.7万人/日 (国土数値情報 駅別乗降客数データ2017年度)

● 駅まち再構築の実現における工夫

■ 都市再生特別地区を活用した開発事業の貢献項目として、駅のホームおよび地上・地下の歩行者広場を駅隣接敷地内に整備した

- 乗降客数が多く混雑していた銀座線虎ノ門駅のホームを、隣接敷地内に拡張し整備した。
- 駅ホームと隣接する位置に、地上駅前広場へとつながる約600mの地下駅前広場を整備した。
- これらは都市再生特別地区を活用した開発事業の中で整備され、都市整備への貢献項目として評価されている。

● 地下鉄虎ノ門駅の拡充と地上・地下歩行者ネットワーク



出典：都市再生特別地区（虎ノ門一丁目3・17地区）都市計画（素案）の概要  
事業の概要

虎ノ門駅前地区第一種市街地再開発事業（東京虎ノ門グローバルスクエア）	
整備内容	地下鉄銀座線のホーム拡幅および改札口の設置
整備主体	虎ノ門駅前地区市街地再開発組合
管理主体	東京地下鉄株式会社

● 駅まち再構築の経緯

- 環状2号線の整備や虎ノ門ヒルズの整備が進展してきた虎ノ門エリアで、港区がまちづくりガイドラインを策定し、2014年に特定都市再生緊急整備地域および国家戦略特区へ指定された。
- このような流れを受け、更なる国際競争力強化を目指し、日比谷線新駅（虎ノ門ヒルズ駅）の整備計画などと合わせた駅機能の強化および地上地下の歩行者ネットワーク整備が、複数の開発プロジェクトの中で進められてきた。
- 都市再生特別地区の提案の際には、複数の地区が緊急整備地域の方針やまちづくりガイドラインに示された全体構想を参照し調整しながら、個別に提案を行った。

経緯

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
上位計画						まちづくり ガイドライン		国家戦略特区指定 ● 特定都市再生緊急 整備地域指定						
都市計画	環状2号線周辺地区 都市計画変更 ●						〔虎ノ門二丁目地区 (虎ノ門病院) 都市計画決定 (特区)〕	●	虎ノ門一丁目3・17地区 都市計画決定 (特区)			〔虎ノ門一・二丁目地区 都市計画決定 (特区)〕		
事業						虎ノ門ヒルズ 建築工事		虎ノ門駅前地区第一種市街地再開発事業		組合設立 権利変換 認可		建築工事		竣工 予定

●上位計画

■特定都市再生緊急整備地域の整備計画

東京都心・臨海地域（環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区）（2014）

- ・ 特定都市再生緊急整備地域への指定にあたり、国際競争力強化に関する方針等が定められており、地下鉄駅の改良等を含む、交通結節機能強化の方針についても示されている。

■ 都市の国際競争力の強化に関する基本的な方針

都心部と臨海部を結ぶ環状第2号線の整備による広域的な交通利便性の向上、大使館や外資系企業、外国人居住者等の集積、虎ノ門ヒルズをはじめとする都市開発が進む本地区において、交通結節機能の更なる強化や大街区化等と併せて、生活環境を備えた国際的なビジネス・交流拠点の形成を図る。

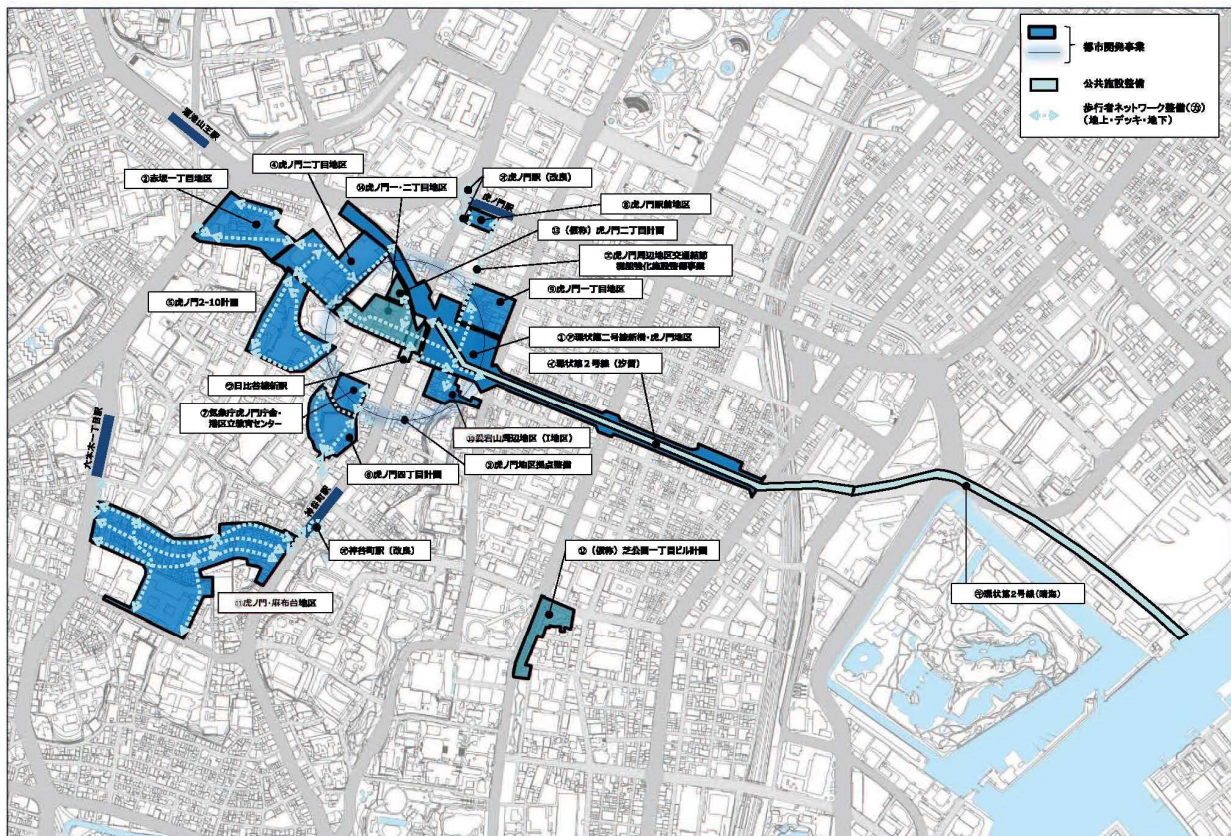
○生活環境を備えた国際的なビジネス・交流拠点の整備

- ・ 街区再編や大規模土地利用転換など、今後見込まれる複数の都市開発の推進により、業務、商業、住宅、医療、教育、宿泊、文化機能を備えた外国人にとっても暮らしやすい生活環境を整備するとともに、国内外の企業や人々の交流、新たなビジネスの創出・企業の集積を推進し、国際的なビジネス・交流拠点と誰もが住み続けられる生活都心の形成を図る。

○交通結節機能の強化

- ・ 環状第2号線の整備による空港アクセスや広域的な交通利便性の向上を契機に、地下鉄駅の新設・改良、バスターミナル、地下鉄駅を結ぶ地下歩行者ネットワーク等の整備により、交通結節機能の強化を図る。
- ・ 大規模土地利用転換に併せ、地区の骨格を形成する道路を整備し自動車交通の円滑化を図るとともに、誰もが安全・安心に利用できる歩行者ネットワークを整備し、地区間や公共交通などへのアクセス・利便性の向上を図る。

環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区（整備計画区域図）



この地図は、国土交通省の承認（国土交通省告示第269号）を得て作成した東京都地図（S=1:2,600）を基に（2014年現在）作成したものである。最新情報を提供する。

